

喜多浩一通信

Vol.3 発行・喜多浩一



市議会議員2年目を迎えて

いつも、温かいご支援ならびにご指導をいただきまして本当にありがとうございます。早いもので、皆様から金沢市議会の議席をいただきましてから1年が過ぎました。その間、5回(H23年6月・9月・12月、H24年3月・6月)の議会定例会を経験させていただき、そのうち4回、一般質問の演壇に立たせていただきました。

現在の山野市長同様、2世議員でもなく、ましてや議員秘書なども経験したことがない一般サラリーマン出身の私にとりましては、ほとんどが未知のものであり、新人議員として色々な意味で“洗礼”を浴びた1年であったと言えます。しかし、何のしがらみもなくこの世界に入ってきた自分だからこそ「できる」と確信を得た1年であったとも言えます。

一般会計と特別会計をあわせて計4000億円を超える大きな借金を抱える金沢市の前途は、決して生ぬるいものではありません。新幹線が開通したからといって、劇的に変化するなんて甘い考えを持つべきでもありませんし、もうすでに始まっている都市間競争は、一般企業の生き残りをも凌ぐものになると考えるべきです。

この先、かつての右肩上がりが見込めない以上、市民の方々にも色々な意味で“我慢”をしていただく場面が今以上に増えるかもしれません。しかし、将来を担う子供たちのためにも、我々はやらなければならないのです。

私自身、毎日必死になって戦っていきますので、これからも今まで以上のご指導を賜りますよう、よろしく願いいたします。

(喜多浩一)

3月議会と6月議会での主な一般質問と答弁の要約

◎公共インフラの老朽化とその迅速な対応の必要性について

〈喜多浩一〉

高度経済成長期に集中整備された下水道や道路などの公共インフラが、今後更新時期を迎えつつある。膨大な財政負担を考えた場合、危機的状況に陥る前に、早急に中長期的な対策を立てるべきである。

〈山野市長〉

国と歩調を合わせ、道路や下水道、市営住宅などの公共施設の長寿命化計画を策定した上、リニューアルのために事業費を中期財政計画に盛り込んでいく。また、公共施設維持補修基金を創設し、現在約8億円余りが積み立っている。

◎新幹線開業後に向けた雇用並びに中小企業対策について

〈喜多浩一〉

新幹線開業後に金沢市がもっとも懸念していることの一つは首都圏へのストロー現象である。企業の定着と雇用の対策はどうするのか。また、企業誘致の見通しをどのようにお考えか。

〈山野市長〉

昨年度、学識経験者や中小企業関係者からなる中小企業懇話会を立ち上げた。ここでの議論を受けて、大手企業との商談会や販路開拓、若者と中小企業関係者との交流事業、また、ベンチャー企業が起業しやすい環境の形成など地元市場の縮小対策並びに若者労働者の地元就労機会の確保に努めている。また、日本海側での自然災害が少ないことを利点として、積極的に企業誘致に取り組んでおり、県とも連携を取っていきたい。

◎空き家に悩まないまちづくりについて

〈喜多浩一〉

空き家の増加は、新幹線開業を控え、観光促進を掲げる金沢市のイメージを大きく損なう。また、防災上の観点や個人の資産形成上も問題が多く、空き家の解消や歯止めは喫緊の課題である。

〈山野市長〉

空き家は金沢市だけでなく、全国的に問題になっている。今後、国による法律の制定が必要であり、全国市長会を通じて、国に対応を求めていく。

その他の質問内容

- ・発達障害者支援について
- ・長期的ビジョンに立ったまちづくりについて
- ・ベンチャー企業の創出と育成について
- ・住民による雪害対策と地域コミュニティの確立について
- ・行財政改革について

進学や就職課題 専門職員育成へ

発達障害者支援



喜多浩一氏

山野市長は、対人関係が苦手な発達障害の人が進学や就職で直面する課題に対応するため「専門性の高い職員を育成したい」と述べ、支援を強化する考えを示した。喜多氏の質問に答えた。

市長は「中学卒業後

の進学や就職への円滑な橋渡しが課題」と説明。発達障害支援チームを置く市教育プラザ富樫を拠点に幼児期から卒業後までの一貫した相談・支援体制を築くほか企業やハローワーク金沢などと八月に設置する市障害者雇用促進連絡会で就労支援策を検討していく。

発達障害は対応の遅れが二次障害につながるとして、早期に把握して支援するため、医療機関との連携を深め

北陸中日新聞 2012年6月20日付朝刊

年々増加 市内に1万戸

空き家条例市は及び腰

議会から対策求める声

防犯などの観点から老朽化した空き家の適正管理を促す条例を制定する動きが全国の自治体で広がる中、条例化されていない金沢市では空き家が一万戸に上る。議会側からは「空き家を放置すれば観光や経済面でもマイナス」と対策を求める声が出ている。(押川恵理子)

総務省の統計や市住三年の八千八百戸から相談は二一年度、倒壊宅政策課によると、市13・6%増えており、の恐れや樹木・雑草の増え、生い茂り、害虫の発生など増加傾向にある。空き家の増加は二〇〇八年から一〇一三年で一万戸と推計。〇家に対する市民からの生、こみの放置など三

十一件寄せられた。市危機管理課の担当者は「相談の大半は解決できなかった。解決できていない事例は所有者が不明の空き家のため、所有者に適正管理を促す条例を制定しても役に立たない」と条例化を進めない理由を説明。

空き家対策は担当課が複数にまたがため、今後は速やかに対応できる体制の整備に力を入れていく。

全国で初めて空き家条例を二〇一〇年十月に施行した埼玉県所沢市では相談の解決率が上がる効果があった。施行前は相談五十六件のうち解決は二十五件と44・6%にとどまっていたが、施行後は相談百十五件のうち66・1%にあたる七十六件が解決された。所沢市防犯対策室の担当者は「対策をお願いする」と指摘する。

金沢市議会六月定例会の一般質問で市側に空き家対策を求めた喜多浩一議員(自民・清風)は「条例は空き家への関心を高める効果もある。老朽化し、問題となる前に空き家を資産として活用できれば市にもプラスの効果がある」と指摘する。

北陸中日新聞 2012年6月27日付朝刊

創業支援に民間活用

ビジネス プラザ武蔵



喜多浩一氏

山野市長は、これまでの創業支援事業を見直し、民間のノウハウなどを活用する考えを示した。喜多氏が今後の展開などについて、市長の見解を求めた。起業支援は公約の「たい」と述べた。

山野市長は、これまでの創業支援事業を見直し、民間のノウハウなどを活用する考えを示した。喜多氏が今後の展開などについて、市長の見解を求めた。起業支援は公約の「たい」と述べた。

つでもあり、山野市長は「創業間もない支援をしていくにも、事業の立ち上げから運営の立ちに至る過程のサポートを充実させることが必要」と強調。「民間の情報技術(IT)を活用し、新たな産業創出を促す」と述べた。

北陸中日新聞 2012年3月15日付朝刊

市除雪費3億6000万円

今冬 予算底突き、補正対応

金沢市の今冬の除雪費が三億六千七百四十万円を超えたことが分かった。二十日までに除雪した市道は延べ九千四百三十一キロで、前年同期比83%。当初予算案に一億円を計上しており、不足分は三月補正予算案で対応する。市議会都市整備委員(清風金沢)は、町会が用水

員会で報告された。市によると、今冬の降雪日数は三十四日で前年と同じだが、降雪量にはばらつきがあったため、前年同期より除雪作業にかかる経費が八千六十万円抑えられているという。

喜多浩一委員(清風金沢)は、町会が用水

北陸中日新聞 2012年2月22日付朝刊

① 街頭演説

平日の夕方に市内の交差点のどこかでやっています。見かけたらぜひ、お手を振ってください。



①

② 農業視察

今後の農業のあり方を考えるいいきっかけになりました。



②

③ 故 柳宗理氏

日本の工業デザイナーの草分けで金沢美大教授であった、やなぎそうり氏の献花式に参列。



③

議会活動フォト



④

④ 浜岡原発(静岡)

原発の現状と、その防災体制を目の当たりにしました。

《喜多浩一プロフィール》

昭和 45 年 5 月 野町に生まれる

58 年 3 月 森山町小学校卒

61 年 3 月 星稜中学校卒
(剣道部主将)

平成 元年 3 月 金沢泉丘高校卒
(剣道部主将)

9 年 3 月 早稲田大学卒

平成 9 年 4 月 今村証券株式会社入社

23 年 1 月 // 退社

23 年 4 月 金沢市議会議員選挙に初当選

野町校下青年会・野町弥生消防分団所属

金沢市体育協会 常任理事

資格: 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー
宅地建物取引主任者

家族 妻、長男(米泉ドジャースにて少年野球)、次男(幼稚園)

